

大子中学校だより



↑ほぼ毎日更新ポータルサイト：  
<http://www.daigo.ed.jp/daigo-cv/> ←カラー版が掲載されています

いつも心に大子中ブライドを!



文責 校長 長山 芳子  
大子町立大子中学校  
久慈郡大子町池田1648  
TEL 72-0158, FAX 72-0461

## 自分なりの感じ方・考え方を大切に、 そして相手の感じ方・考え方も大切に ～第55回入学式 新入生61名が仲間に加わりました～

4月7日(金)第55回入学式が挙行されました。今年度の入学式は午後開催となりました。今年度の新入生は61名。緊張と不安の入り交じる中、登校してきた新入生は、クラス発表を確認し、それぞれの教室に入っていました。午前中、自己紹介や学校生活についてのオリエンテーションを行ううちに次第に打ち解け、午後の入学式に参加となりました。

入学式では、一人一人担任から呼名され、元気に返事をし、新入生代表 ○○○○さんの力強い誓いの言葉が読み上げられ、終始一貫して「中学生になった」自覚が感じられる立派な態度でした。

この入学式で、全校生徒187名が勢揃いしました。今年度も本校は「生徒が通いたい」「保護者が通わせたい」「地域が応援したい」「教職員が働きたい」大子中学校を目指します。昨年同様、本校教育活動にご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。



生徒会長 ○○○○さんの先導で入場完了



吹奏楽部の演奏曲「ブルースカイ」で堂々と入場する61名



新入生呼名「はい」しっかり返事

### <第55回入学式 式辞骨子>

大子中学校に入学した61名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大子中学校へようこそ皆さんの入学を在校生や先生方が心待ちにしていました。入学のお祝いに、私からみなさんに贈りたい詩があります。吉野 弘さんという詩人が書いた「素直な疑問符」という詩です。



小鳥に声をかけてみた。  
小鳥は不思議そうに首をかしげた。  
分からないから「分からない」と首をかしげた。  
あれは自然な首のひねり  
てらわれない美しい疑問符の形  
時に風のごとく耳元で鳴る意味不明な訪れに  
私もまた素直にかしぐ 小鳥の首でありたい。



小鳥がちょこんと首をかしげる様子を、吉野さんは、かわいらしく歌いました。「どうして、春には一斉に花が咲くのだろう。」「なぜ空は青いのだろう。」ふと訪れる「?(ハテナ)」は今の皆さんだからわいたハテナです。答えはないかもしれないし、先生も教えられないかもしれない、だからこそ大切な瞬間です。この世は分からないことで満ちています。それを小鳥が教えてくれる。吉野さんは、素直に疑問を感じることの大切さを詩を通して教えてくれています。

新型コロナウイルスパンデミックの中で、皆さんは、小学校高学年の時代に今まで当たり前だと思ってきたことのありがたみを感じたり、別の方法もあることを学んできました。大変な3年間でしたが、それは、皆さんがこれから予測が困難な時代を生きていくための大切な学びでもありました。同じ景色を見ても人それぞれ感じ方は違います。自分なりの感じ方、考え方を大切にしてください。そして、友達や先生、家族、自然かや本からたくさん受け取れるものがあります。皆さんの学びを夢の実現を教職員一同全力で応援します。

